

日本芸術文化振興会ニュース

国立劇場 | 国立演芸場 | 国立能楽堂 | 国立文楽劇場
伝統芸能情報館 | 国立劇場おきなわ | 新国立劇場 | 芸術文化振興基金

2020
12



【今月の表紙】
ゆきげしきしばいのりのりぞめ
雪景色戯場乗始

3枚続きの内
文久2年(1862)12月
梅蝶楼国貞画〔2代目歌川国貞〕
国立劇場蔵

目次 CONTENTS

日本芸術文化振興会ニュース

国立劇場

12月歌舞伎公演	1
12月文楽公演	2
12月文楽鑑賞教室	3

国立演芸場

12月上席/12月中席/12月花形演芸会	4
12月国立名人会/12月特別企画公演/展示・イベント情報	5

伝統芸能情報館

伝統芸能情報館/国立劇場/文化デジタルライブラリー	6
---------------------------	---

研修便り

国立能楽堂

12月公演	8
展示・イベント情報	9

国立文楽劇場

初春文楽公演	10
上方演芸特選会/展示・イベント情報	11

国立劇場おきなわ

12月公演	12
-------	----

新国立劇場

12月公演	13
-------	----

12月公演カレンダー

14~17	14~17
-------	-------

芸術文化振興基金

文化芸術振興費補助金による助成事業	18
芸術文化振興基金による助成事業	19

インフォメーション

お正月の国立劇場各館のご案内

【おことわり】

本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを低減するため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。

国立劇場

公演情報

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
 電話 03-3265-1741 (代表)

12月歌舞伎公演 《大劇場》

【第一部】

河竹黙阿弥 作
 三人吉三巴白浪

三幕五場

序幕 大川端庚申塚の場

二幕目 第一場 巢鴨在吉祥院本堂の場

第二場 同 裏手墓地の場

第三場 同 元の本堂の場

大詰 本郷火の見櫓の場

浄瑠璃「初槽噂高嶋」

清元連中
竹本連中

【主な配役】

《第一部》

お嬢吉三	お坊吉三	お守源次坊	伝吉娘おとせ	手代十三郎	捕手頭長沼六郎	和尚吉三
中村時蔵	上村緑蔵	東東松	坂東亀蔵	中村新太	中村萬太郎	中村芝翫

《第二部》

「天衣紛上野初花」

河内山宗俊	和泉屋清兵衛	宮崎数馬	腰元浪路	近習大橋伊織	同黒沢要	同米村伴吾	後家おまき	北村大膳	高木小左衛門	松江出雲守
大松本	市川右衛門	高麗蔵	蒼玉	宗之助	廣太郎	玉太丞	歌女之丞	錦歌之丞	彌太郎	梅十玉
白鸚	友右衛門	高麗蔵	蒼玉	宗之助	廣太郎	玉太丞	歌女之丞	錦歌之丞	彌太郎	梅十玉
中村白鸚	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助	中村福助

河竹黙阿弥 作
 天衣紛上野初花

二幕四場

―河内山―

序幕 上州屋見世先の場

二幕目 第一場 松江邸広間の場

第二場 同 書院の場

第三場 同 玄関先の場

上 鶴亀
 下 雪の石橋

長唄囃子連中

12月3日(木)～26日(土) 託児室あり イヤホンガイドあり 好評発売中

※15日(火)は休演
 第一部=11時開演(13時20分終演予定) 第二部=15時30分開演(18時終演予定)
 ※各部とも30分休憩がございます。
 【料金】 1等席7,000円・2等席4,000円・3等席2,000円
 (学生料金 [電話・窓口で販売] 1等席4,900円・2等席2,800円・3等席1,400円)
 ※障害者の方は2割引きです。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

12月文楽公演 《小劇場》

【第一部】

仮名手本忠臣蔵

二つ玉の段
身売りの段
早野勘平腹切の段



仮名手本忠臣蔵 早野勘平腹切の段

【第二部】

桂川連理柵

六角堂の段
帯屋の段



桂川連理柵 帯屋の段

12月文楽鑑賞教室 《小劇場》

二人禿

解説 文楽の魅力

芦屋道満大内鑑

初めて文楽をご覧になる方にも楽しんでいただくために、実演を交えてご紹介する「解説 文楽の魅力」と、文楽を代表する名作をご覧いただきます。
※プログラム・鑑賞のしおり無料配布



「芦屋道満大内鑑」 葛の葉子別れの段

社会人のための文楽鑑賞教室 《小劇場》

お勤め帰りにおすすめの夜公演です。
演目・出演者は上記「文楽鑑賞教室」と同一です。
※プログラム・鑑賞のしおり無料配布

Discover BUNRAKU
— 外国人のための文楽鑑賞教室 — 《小劇場》

解説 文楽の魅力
※解説IIステュウット・ヴァーナム・アットキン
外国人の方にも気軽に楽しんでいただける人気企画。
分かりやすい英語の解説付きです。
※英語字幕
※イヤホンガイド無料貸出（日本語・英語）
※プログラム無料配布
令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト
主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）

芦屋道満大内鑑

葛の葉子別れの段

12月3日（木）～12月15日（火）

1等席4,500円・2等席3,800円
（学生料金〔電話・窓口で販売〕1等席3,200円・2等席1,900円）
※各部とも休憩はございません
※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

公演日程	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火
2:00	○	①	—	—	—	—	—	—	①	—	①	①	—
4:30	—	②	—	—	—	—	—	—	②	—	②	②	—
5:00	①	—	①	①	①	①	①	①	—	①	—	—	①
7:30	②	—	②	②	②	②	②	②	—	②	—	—	②

①第一部・②第二部ともに上演時間=1時間30分

字幕あり | イヤホンガイドあり | 託児室あり | 好評発売中

チケット購入方法

- インターネット = [国立劇場チケットセンター] で検索
- 電話（10時～18時） = 0570-07-9900/03-3230-3000（一部IP電話等）
- 窓口（10時～18時） = 各劇場チケット売場（国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場）

国立劇場託児室（要予約・有料）

【開室日】歌舞伎・文楽公演期間中の月・水・土・日・祝日 ※現在、受け入れ人数を制限しております。
【料金】0～1歳 2,200円、2～12歳 1,100円
【ご予約・お問合せ】イベント託児・マザーズ：0120-788-222（平日10～12時・13～17時）
<http://www.mothers-inc.co.jp/>

12月3日（木）～12月15日（火）

全席指定4,100円
（学生料金〔電話・窓口で販売〕1,600円）
※各部とも休憩はございません。
※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

公演日程	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火
11:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2:00	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	○
7:00	—	●	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	★

○文楽鑑賞教室 ●社会人のための文楽鑑賞教室 ★Discover BUNRAKU

字幕あり | イヤホンガイドあり | 託児室あり | 好評発売中

国立演芸場

公演情報

〒10218656 東京都千代田区隼町4-1
電話 03-32651741 (代表)

12月公演 《好評発売中》

上席

12月1日(火)～10日(木)
13時開演 (15時30分終演予定)

落語 (三遊亭 遊子(1～4日・10日)
(日替) 笑福亭 羽光(5～9日)
落語 三遊亭 遊馬
奇術 北見 伸&ステイファニー
落語 (三遊亭 とん馬(6～10日)
(日替) 三遊亭 遊吉(1～5日)
— 仲入り —
俗曲 松山 うめ吉

全席指定2,000円
(学生1,400円・シルバー1,400円)

中席

12月11日(金)～20日(日)
13時開演 (15時30分終演予定)

落語 (柳家 小はだ(12～14日・19日・20日)
(日替) 柳家 小はぜ(11日・15～18日)
落語 柳家 小八
浮世節 立花家 橋之助
落語 五明樓 玉の輔
— 仲入り —
落語 入船亭 扇辰
漫才 笑組
落語 柳家 はん治

全席指定2,000円
(学生1,400円・シルバー1,400円)

第500回 花形演芸会

12月12日(土) 18時開演 (20時終演予定)

※本公演は休憩はありません。

落語 「君の名は」 昔昔亭 喜太郎
落語 「四段目」 桂 宮治
上方落語 「天狗裁き」 桂 雀太
漫才 母 心
落語 「睨み返し」 三笑亭 夢丸

全席指定1,500円
(学生1,100円・シルバー1,350円)

第443回 国立名人会

12月19日(土) 18時開演 (20時30分終演予定)

落語 「花筏」 柳家 甚語楼
落語 「転宅」 柳亭 左龍
落語 「二番煎じ」 柳家 花緑
— 仲入り —
奇術 ダーク 広和
落語 「福祿寿」 柳家 さん喬

全席指定3,000円(学生2,100円)

特別企画公演

『円丈百席』を聴く会 (傑作円丈作品)

12月23日(水) 13時開演 (15時35分終演予定)

オープニング
落語 三遊亭 究斗
落語 三遊亭 白鳥
落語 林家 彦いち
落語 柳家 小ゑん
— 仲入り —
落語 柳家 喬太郎
落語 三遊亭 円丈

全席指定3,200円(学生2,200円)

展示・イベント情報

〈展示〉 1階演芸資料展示室 ◆入場無料

◎演芸資料展 見世物の「近代」

— 開国から明治の時代

庶民の最も身近な娯楽として江戸時代後期に都市の盛り場で興行された曲芸・細工・動物などの見世物は、明治以降にはサーカス、パノラマや奇術へと継承され、近代の娯楽の土壌となりました。本展では、国立劇場が所蔵する見世物関係資料のうち、幕末から明治期のもものを取り上げ、西洋化の波が押し寄せた時代に、見世物が映し出した「近代」の日本の姿をご紹介します。

【会期】12月1日(火)～令和3年3月21日(日)
【開室時間】10時～17時
【12月休室日】21日(月)・22日(火)・24日(木)～31日(木)
※公演の都合により休室日が変更になる場合があります。
【入場制限】8名以内 ※展示室内の混雑緩和のため
【問合せ先】国立劇場調査資料課
03-326517061 (直) 平日10時～17時30分



※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ
又はお問合せ先でご確認ください。

チケット 購入方法

●インターネット＝国立劇場チケットセンターで検索
●電話10時～18時＝0570-07-9900/03-3230-3000(一部)電話等
●窓口10時～18時＝各劇場チケット売場(国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場)
※障害者の方には割引があります。詳細はチケットセンターまでお問合せください。
※学生料金は窓口・電話で販売

〈展示〉

1階情報展示室 ◆ 入場無料

● 企画展示

伝承者養成事業50周年記念

「国立劇場の養成事業」

「心と技を伝えた50年」

本年は、昭和45年（1970）に国立劇場が歌舞伎俳優の研修を開始してから50年の節目にあたり、これまで、我が国古来の伝統芸能の保存、振興のため、歌舞伎俳優、歌舞伎音楽（竹本・鳴物・長唄）、大衆芸能（寄席囃子・太神楽、能楽（三役）、文楽、組踊）の各分野で伝承者の養成に取り組んできました。事業開始から現在に至る養成事業の歩みと伝統芸能の中で果たしてきた役割について、研修で使われる各種教材や楽器、研修風景・研修発表会の写真やプログラム等の所蔵資料を通して紹介します。



【会期】開催中（令和3年1月27日（水）～12月31日（木））
【開室時間】10時～18時
【12月休室日】29日（火）～31日（木）
【入場制限】25名以内 ※展示室内の混雑緩和のため
【問合せ先】国立劇場調査資料課
03-3265-1706（直通） 平日10時～17時30分

● 公演記録鑑賞会
第483回 令和3年1月8日（金）13時
第90回邦楽公演

「文楽素浄瑠璃の会」（平成7年10月国立劇場・カラ）
「新版歌祭文」野崎村の段 竹本住太夫（7代）・竹澤団六（8代）・鶴澤燕二郎（現・6代燕三）
「奥州安達原」袖萩祭文の段 豊竹呂大夫（5代）・豊澤富助（5代）

【定員】56名（応募多数の場合は抽選）/無料/全席座席指定
【応募締切】12月10日（木）当日消印有効
【応募方法】1名様につき、往復はがき1枚でお申し込みください。（重複申込無効）
往復はがきの往信に①郵便番号、②住所③お名前④電話番号⑤上映回数（第483回）⑥鑑賞会の日付（1月8日）、返信に郵便番号・住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送りください。
〒100-8656 東京都千代田区隼町4-1

国立劇場調査資料課「公演記録鑑賞会」係
※お寄せいただいた個人情報、今回の募集以外の目的では一切使用いたしません。
※結果は返信はがきでお知らせします。
【問合せ先】国立劇場視聴室
03-3265-16479（開室日11時～16時）

図書閲覧室（2階）

歌舞伎・文楽・演芸などの芸能関連図書や、国立劇場・国立演芸場の公演関連図書が閲覧できます。
（閲覧希望日前日までに要予約/入場制限・上限10名）
【開室時間】平日の11時～16時
【休室日】土・日・祝日・月末整理日・年末年始（12/29～1/3）
【予約・問合せ先】03-3265-16300（直）【開室日】11時～16時

※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ、又はお問合せ先でご確認ください。

国立劇場

2020年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

● 図書閲覧室・視聴室とも開室（当日11時～18時「要事前予約」）
● 観覧券 公演記録鑑賞会開演（12/29～31）

文化デジタルライブラリー

国立劇場・国立演芸場の主催公演のうち、記録映像・録音があるものを視聴できます。（視聴希望日前日までに要予約/視聴利用料30分ごとに50円/入場制限・上限3名）
【開室時間】平日の11時～16時
【休室日】土・日・祝日・公演記録鑑賞会開催日・月末整理日・年末年始（12/29～1/3）
【予約・問合せ先】03-3265-16479（直）【開室日】11時～16時
※詳細については、日本芸術文化振興会ホームページ、又はお問合せ先でご確認ください。

https://www.ntj.jac.go.jp/digital/ 伝統芸能を調べる・見ると学べるのウェブサイトを。調べる：国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場の過去の目録公演について調べることができます。見る：錦絵やプロマイドなど、伝統芸能に関する資料をご覧いただけます。学ぶ：舞台芸術の魅力をわかりやすく学べるコンテンツが揃っています。

研修便り

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、各分野で研修を行っています。

〔連載〕 研修インタビュー

研修講師の方々や、現在舞台上で活躍中の研修修了者を、毎月連載でご紹介します。

第4回 鶴澤清介（文楽研修講師）

一師匠ご自身が文楽の世界に入ったきっかけを教えてください。



中学校の図書館で『文楽浄瑠璃集』に出会ったのがきっかけです。八代目竹本綱太夫師匠の床本（太夫が舞台上で使用する作品の一部を書いた本）を活字にしたもので、舞台のことが細かく書いてあり、面白そうだなと思ったのです。そこへたまたまラジオでその綱太夫師匠と十代目竹澤弥七師匠の演奏を聴く機会があり、あまりの面白さに感動しました。泣くこと一つ取っても、悔しいとか、悲しいとか、絶望といった人間の心理が見事に表現されていることがよくわかったのです。突然歌い出すような表現にも驚きましたね。

ラジオの邦楽番組で義太夫節を何度も聴いているうちに、「これを習ってみたい」と思うようになりました。高校入学後に先生を紹介されて習い始めましたが、夏休みに盲腸の手術をすることになってしまい、お腹に力を入れることはダメだと言われてしまったのです。三味線に興味を持っていろいろな人の義太夫節を聴いているうちに、三味線の表現方法の違いに気付きました。大学にも進学したのですが、どうも普通の生活は向かない気がして、在学中に二代目鶴澤道八師匠を紹介していただき入門しました。

一どのような人に文楽の世界へ来てほしいですか。

とにかく素直な人に来てもらいたいです。どこまで行っても人間性が重要です。いい加減な人は全部淘汰されますし、芸や技術が進めば進むほど、最後は人間性が問われます。でないと努力もしていかれないですね。

未経験で志望する方には、義太夫節を何度も聴いて、楽しいと思えるようになっておいてほしいですね。義太夫三味線は聴いても面白いし、弾くともっと面白いものです。音が特殊で豪快なものから繊細なものまで何でも弾くことができます。振れ幅が広いので、人それぞれに独自のものを表現できる魅力に、ぜひ触れてほしいと思います。

インタビューの全文はHPから！

● 文楽研修生募集中 ●

問合せ：国立文楽劇場企画制作課養成係

TEL：06-6212-5529（直通） <http://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>

平日午前10時～午後6時（年末年始を除く）



国立能楽堂

公演情報

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
電話 03-3423-1331 (代表)

12月公演 《好評発売中》

《月間特集 所縁の能・狂言―勸進能―》

流儀や家に縁のある作品を集めるシリーズの3回目。勸進能は、寺社などの建立や修理のために寄附を集める「勸進」の名目で興行されたのが始まりで、江戸中期以降になると能楽の大夫が幕府の公許を得て行う一世一代の大規模な催しとしての側面ももつようになりまし。今回は能楽史上著名な4つの勸進能で演じられた作品を、所縁の演者により上演します。

定例公演 12月1日(火) 13時

(16時終演予定)

● 糺河原勸進猿楽

おはなし
松岡心平
伊文字
小笠原由禰
能 (観世流) 実盛
観世清和

普及公演 12月12日(土) 13時

(15時30分終演予定)

● 粟田口勸進猿楽

解説・能楽あんない
能楽の新时代
―勸進能の舞台空間を想像する―
宮本圭造
狂言(天藏流) 猿賀
茂山宗彦
能 (金春流) 舍利
金春安明

企画公演 12月26日(土) 13時

(15時30分終演予定)

● 所縁の能・狂言／弘化勸進能

狂言(天藏流) 米市
山本東次郎
能 (宝生流) 鞍馬天狗
宝生和英
天狗揃

みどころ

「邯鄲」

古の中国。青年・盧生が邯鄲の宿で不思議な枕を借りて眠ると、夢の中で栄華の極みを体験します。夢から覚めた盧生は…。中国の故事にちなむ人気曲です。

みどころ

「鞍馬天狗」

花見をする僧と稚児の前に現れた山伏の正体は鞍馬山の大神。一人残った牛若丸に兵法を授けます。子方が舞台に立ち並ぶ華やかな作品で、今回は小書により多数の天狗も登場します。

みどころ

「悪坊」

京都・泉涌寺から舍利(釈迦の骨)を奪って飛び去った足疾鬼を、寺の守護神・草駄天が追いかけます。逃げる足疾鬼と追う草駄天の迫力ある戦いが繰り広げられます。

定例公演 12月18日(金) 18時30分

(21時終演予定)

● 寛延勸進能

狂言(天藏流) 悪坊
大藏彌太郎

展示・イベント情報

〈展示〉

1階資料展示室◆入場無料

● 特別展 勸進能

展示期間中に行われる国立能楽堂の公演月間特集テーマ「所縁の能・狂言―勸進能―」にあわせ、室町時代の勸進猿楽にはじまり明治時代まで、京都・江戸・大坂等で行われた勸進能の歴史をひもとく、往時の興行の様子を、関連する絵画・古文書等の様々な資料をもとに具体的に展示します。

【会期】開催中(令和3年1月17日(日)～12月12日(土))
【12月休室日】7・14・21・27日～31日
【開室時間】11時～17時
【入場制限】32名以内 ※展示室内の混雑緩和のため
※公演日は開演・開演までにご覧下さい。3密を避けるため、公演休憩時には展示室をご利用頂けません。お客様にはご不便をおかけしますが何卒ご理解ご協力下さいますようお願いいたします。

〈イベント〉

2階大講義室◆受講無料事前申込制

● 国立能楽堂公開講座

1月13日(水) 14時「応募締切」12月23日(水) 必着
2月の狂言と能―絵画と能・狂言―
【講師】小林健二氏(国文学研究資料館名誉教授)
【募集】70名 ※抽選による座席指定(※大講義室内の混雑緩和のため) 応募多数の場合抽選
【応募方法】1講座につき、1名様1枚の往復はがきでお申し込みください。※重複申込無効

往信に①郵便番号②住所③氏名④連絡先電話番号⑤講座の日付⑥講座タイトル、返信に住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送り下さい。
〒151-00051
渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂「公開講座」係

※お寄せいただいた個人情報、今回の募集以外の目的では使用いたしません。

※結果は返信はがきにてお知らせいたします。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問い合わせください。

【問合せ先】国立能楽堂調査資料係
03-3423-1331(代)【平日10時～17時】

図書閲覧室(地下1階)
能楽関連図書や国立能楽堂公演記録資料の閲覧・視聴(予約制)
●開室時間:11時～16時(開室日は開室日カレンダー参照)
●図書閲覧(無料)・公演記録・視聴(有料)のご予約:03-3423-1145(直)
【入室制限】14名以内(視聴ブース4名・図書閲覧10名)
※閲覧室内の混雑緩和のため
※日程や時間、入場制限等、変更となる可能性があります。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問合せください。

2020年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□開室日(開室時間:11:00～16:00)
■休室日(写真資料利用受付日)

- インターネット＝[国立劇場チケットセンター]で検索
 - 電話(10時～18時)＝0570-07-9900/03-3230-3000(一部IP電話等)
 - 窓口(10時～18時)＝各劇場チケット売場(国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場)
- ※出演者等の変更についてはご了承ください。
※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。

チケット購入方法

国立文楽劇場

公演情報

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10
電話 06-6212-2531 (代表)

鶴澤清治文化功労者顕彰記念
初春文楽公演 《文楽劇場》

【第一部】11時開演

菅原伝授手習鑑

すがわらでんじゅて ならいながみ
車曳の段
茶筌酒の段
喧嘩の段
訴訟の段
桜丸切腹の段



菅原伝授手習鑑 桜丸切腹の段

【第二部】14時30分開演

碁太平記白石噺

ごたいへいきしらいしばなし
浅草雷門の段
新吉原揚屋の段
よしつねせんぼんざら
義経千本桜
道行初音旅



義経千本桜 道行初音旅

【第三部】18時開演

妹背山婦女庭訓

いもせやまおんなていきん
道行恋亭環
鱈七上使の段
姫戻りの段
金殿の段



妹背山婦女庭訓 金殿の段

「日本博」参画プロジェクト

1月3日(日)～1月24日(日) ※1月14日(木)は休演 ※1月22日(金)第2部は貸切
第一部11時開演(13時30分終演予定)・第二部14時30分開演(17時終演予定)・第三部18時開演(20時30分終演予定)
1等席5,000円・2等席3,500円(学生料金[窓口・電話で販売]1等席3,500円・2等席3,500円)
●一般発売12月10日(木)10時 ●窓口販売開始=12月11日(金)

字幕あり イヤホンガイドあり

チケット購入方法

- インターネット = [国立劇場チケットセンター] で検索
 - 電話(10時～18時) = 0570-07-9900/03-3230-3000 (一部IP電話等)
 - 窓口(10時～18時) = 各劇場チケット売場
(国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場)
- ※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問合せください。
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

※12月は国立文楽劇場の主催公演はございません。

令和3年1月大衆芸能公演《小ホール》 第III回 上方演芸特選会

1月20日(水)～23日(土)

13時開演(15時5分終演予定)

落語 笑福亭 呂好 (20日・22日)
桂 小梅 (21日・23日)
浪曲 真山隼人
曲独楽 帰天斎 正紅
漫才 立山 センター
一 入 立山 センター
パイオリン漫談 サンデー西村
落語 笑福亭 恭瓶
浪曲 京山 幸枝若

全席指定2,200円

(学生1,500円・シルバー1,500円)

●一般発売12月18日(金)

●窓口販売開始12月19日(土)

※学生・シルバー料金は、窓口・電話で販売
(シルバー料金は満65歳以上)

※12月は国立文楽劇場の主催公演はございません。

展示・イベント情報

〈展示〉

1階資料展示室◆入場無料

◎企画展示

「国立劇場の養成事業

「心と技を伝えた50年」
国立劇場の養成事業は、歌舞伎俳優養成開始以来50年を迎えました。事業開始から現在に至るまでの養成事業の歩みと、伝統芸能の中で果たしてきた役割や伝承者養成の取り組みについて、国立文楽劇場での文楽の養成研修資料を中心に紹介します。

【会期】1月3日(日)～3月7日(日)
【開室時間】午前10時～午後6時
※日程や時間等、変更となる可能性があります。
※入場制限がございます。

〈図書閲覧室〉(3階)

文楽関係図書/国立文楽劇場公演記録資料(文楽)

◎平日:11時～16時
◎図書・視聴ともに要予約TEL:06-6212-2531(代)
◎休室日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始・月末整理日

〈イベント〉

3階小ホール◆入場無料

◎公演記録鑑賞会

第439回 2月6日(土)14時
文楽「八陣守護城」

主計之介早討の段・正清本城の段
豊竹呂太夫、鶴澤清介、吉田玉男、吉田玉也 他
(平成29年11月 国立文楽劇場・カラ)

第440回 3月2日(火)14時
文楽「双蝶々曲輪日記」

八幡里引窓の段
豊竹咲太夫、鶴澤燕三、吉田襄助、桐竹紋壽、吉田和生 他
(平成26年11月 国立文楽劇場 カラ)

【定員】73名(当方抽選による座席指定) ※往復ハガキによる事前申込制
【応募締切】第439回:1月6日(水) 第440回:2月2日(火) ※当日消印有効
【応募方法】ハガキ1枚で1名様・重複無効
往復ハガキの往復には①鑑賞会の上映回数②鑑賞会の日付③郵便番号④住所⑤お名前(ふりがな)⑥電話番号を、返信には必ず①郵便番号②住所③お名前(返信宛先)を明記の上、左記の宛先まで応募ください。
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10 国立文楽劇場(公演記録鑑賞会)係
※応募多数の場合は抽選。結果は返信ハガキでお知らせします。

国立劇場

国立演芸場

伝統芸能情報館

研修便り

国立能楽堂

国立文楽劇場

国立劇場きまわ新国立劇場

12月公演カレンダー

芸術文化振興基金 インフォメーション

新国立劇場

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1
 電話03-5351-3011 (代表)
<https://www.nntt.jac.go.jp/>

12月公演のご案内

パレエ

《オペラパレス》

くるみ割り人形

クリスマス・シーズンは色彩豊かで心躍る舞台を

【日程】12月12日(土) 13時/18時、13日(日) 13時/18時
 18日(金) 19時、19日(土) 13時/18時、
 20日(日) 13時/18時★

【料金(税込)】S席13,200円/A席11,000円/B席7,700円/
 C席4,400円/D席3,300円/Z席1,650円

★12月20日(日) 18:00公演につきまして、有料ライブ配信いたします。

文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」



撮影：鹿摩隆司

【ライブ配信】

視聴券料金：3,000円(税込)
 販売期間：11月25日(水) 10時～12月20日(日) 18時
 配信サイト：チケットぴあ<https://w.pia.jp/t/nntt-nutcracker/>
 イープラスhttps://eplus.jp/nntt_nutcracker/
 ・ライブ後の見逃し配信はございませんので、ご注意ください。
 ・途中から視聴した場合、その時点からのライブ配信となります。
 ・巻き戻しての再生はできません。
 ・視聴には、無料会員登録等が必要となります。
 ・視聴環境等お問い合わせは各種配信サイトをご確認ください。

【オンデマンド配信】

配信開始日時：1月中旬より配信予定
 視聴券料金：980円(税込)
 ・ライブ配信と内容が異なる場合があります。
 ・配信期間は1ヶ月程度を予定しております。
 ・配信先等詳細は決定次第お知らせいたします。

演劇

《小劇場》

ピーター&ザ・スターキャッチャー

有名なあの『ピーター・パン』の前日譚を、近年目覚ましい活躍のノゾエ征爾を演出に迎え、日本初演でお届けします。

【日程】12月5日(土)～6日(日) プレビュー公演
 12月10日(木)～27日(日) 本公演

※12月13日(日) 13時公演終了後、シアタートーク開催予定

【料金(税込)】

【プレビュー公演】A席 おとな 4,400円(子ども 2,200円)、B席 おとな 2,200円(子ども 1,100円)
 【本公演】A席 おとな 6,600円(子ども 3,300円)、B席 おとな 3,300円(子ども 1,650円)
 ※子ども料金は、ご観劇当日に小学生及び中学生の方が対象となります。

オペラ研修所公演

《オペラパレス》

新国立劇場オペラ研修生によるコンサート

NNTT Young Opera Singers of Tomorrow 2020

～オペラ名場面の夕べ～ シーンリサイタル

未来のオペラ界を担う若き研修生たちが数々の名曲を演技つきで披露いたします。

【日程】12月23日(水) 18時30分

【料金(税込)】S席3,300円、A席2,750円、B席2,200円(全席指定)

協賛：全日本空輸株式会社

ご来場にご一緒のお客様へのお願い、新国立劇場における感染予防への取り組みについては下記のURLよりご覧ください。
https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

チケットのお申込み

新国立劇場ボックスオフィス (年末年始を除き、年中無休)

インターネット <http://nntt.pia.jp/> 電話(10:00～18:00)03-5352-9999 窓口(10:00～18:00)
 ※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくはお問合せください。

国立劇場おきなわ

公演情報

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1
 TEL. 098-871-3311 (代表)
<https://www.nt-okinawa.or.jp/>

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、公演中止や資料展示室等を休室することがございます。
 各種情報につきましては、随時、国立劇場おきなわのホームページに掲載いたします。

12月公演のご案内

2020年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

▶第105回組踊公演 「伊祖の子」

継子いじめを背景に、親子の情愛を描いた世話物の組踊です。平成20年に伝統組踊保存会で復活上演された演目で、当劇場では初上演となります。本公演では、島袋光尋氏を立方指導、山城曉氏を地謡指導に宇座仁一、平田智之、金城真次といった中堅・若手実演家を中心にお届けします。

【日程】12月12日(土) 14時開演 宇

【料金】3,200円



▶第122回琉球舞踊公演 男性舞踊家の会

琉球舞踊や組踊をはじめとした様々な舞台公演にて活躍著しい中堅・若手の男性舞踊家が一堂に会し、魅力溢れる琉球舞踊の世界を披露します。本公演では、これまで流会派を越え、多数の琉球芸能公演の制作に携わっているフリージャーナリストの崎山律子氏による構成・演出のもと、打ち組み舞踊を中心にした演目でお届けします。

【日程】12月19日(土) 14時開演 宇

【料金】3,200円



宇 字幕(標準語訳を表示)

レファレンスルームのご案内

【開室日時】火・水・木・第2・第4土曜日
 10時～12時・13時～17時
 【休室日】月・金・日・第1・3・5土曜日
 祝日・慰霊の日(6月23日)
 年末年始(12月28日～1月3日)
 【閲覧資料】①芸能関係図書・雑誌・新聞等
 ②国立劇場おきなわ自主公演記録映像
 (※視聴は有料30分ごとに50円)

資料展示室便り

令和2年度第2回企画展
 「首里城と芸能」
 【展示期間】開催中～12月20日(日)
 【開室時間】10時～18時(入場無料)
 【展示内容】首里城で生まれた芸能「琉球芸能」や「からくり花火」と、首里城を舞台にした史劇「首里城明け渡し」など、首里城と関わる芸能を紹介します。

チケットのお申込み

インターネット <https://www.nt-okinawa.or.jp/ticket-info/web-ticket>
 国立劇場おきなわチケットカウンター(年末年始を除き、年中無休)
 電話(10時～17時30分)098-871-3350/窓口(10時～18時)
 ※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくはお問合せください。

12月公演カレンダー

太字 は日本芸術文化振興会の主催公演

国立劇場チケットセンター
(午前10時～午後6時)
0570-07-9900
/03-3230-3000 (一部IP電話等)

国立劇場

国立演芸場

国立能楽堂

国立文楽劇場

12月	大劇場	小劇場	演芸場
1 火			
2 水			
3 木			
4 金			
5 土			
6 日			
7 月			
8 火			
9 水			
10 木			
11 金			
12 土			
13 日			
14 月			
15 火	休演		
16 水			
17 木			
18 金			
19 土			
20 日			
21 月			
22 火			
23 水			
24 木			
25 金			
26 土			
27 日			
28 月			
29 火			
30 水			
31 木			

12月	能楽堂	文楽劇場	文楽劇場小ホール
1 火	定例公演		
2 水			
3 木			
4 金			
5 土			
6 日			
7 月			
8 火			
9 水			
10 木			
11 金			
12 土	普及公演		
13 日			
14 月			
15 火			
16 水			
17 木			
18 金	定例公演		
19 土			
20 日			
21 月			
22 火			
23 水			
24 木			
25 金			
26 土	企画公演		
27 日			
28 月			
29 火			
30 水			
31 木			

自主公演以外については、それぞれの記載の電話番号等にお問合せください。
なお、主催者の都合により掲載していない公演がございます。

12月公演カレンダー

新国立劇場主催公演に関する
◆お問合せ先◆
新国立劇場ボックスオフィス
TEL. 03-5352-9999

国立劇場おきなわの主催公演に関する
◆お問合せ先◆
国立劇場おきなわ
チケットカウンター
TEL. 098-871-3350

新国立劇場

太字 は新国立劇場の主催公演

12月	オペラパレス	中劇場	小劇場
1 火			
2 水	休演		
3 木	オペラ公演 「こもり」 11月29日(日)～12月6日(日)		
4 金			
5 土		ミュージカル 「EDGES—エッジズ—」 チケットスペース 03-3234-9999	演劇公演(プレビュー公演) 「ピーター&ザ・スターキャッチャー」
6 日			
7 月			
8 火			
9 水			
10 木			
11 金			
12 土		ホリプロミュージカル・コンサート ホリプロチケットセンター 03-3490-4949	休演
13 日			
14 月	休演		
15 火	休演		
16 水	バレエ公演 「くるみ割り人形」 12日(土)～20日(日)		
17 木			
18 金			演劇公演 「ピーター&ザ・スターキャッチャー」 10日(木)～27日(日)
19 土			
20 日			
21 月			休演
22 火			
23 水	オペラ研修所公演 NNTT Young Opera Singers of Tomorrow 2020		
24 木			
25 金			
26 土			
27 日			
28 月			
29 火			
30 水			
31 木			

国立劇場おきなわ

太字 は国立劇場おきなわの主催公演

12月	国立劇場おきなわ大劇場	国立劇場おきなわ小劇場
1 火		
2 水		
3 木		
4 金	芸歴90周年記念 「志田房子の会—舞ひとすじ—」 http://choyoryu.com/contact/	かりゆし芸能公演 島袋 島袋流千尋会 風とともに 090-5921-6318 島袋本流紫の会 島袋 第21回定期公演「伝統の系譜」 090-3070-0890
5 土		
6 日		
7 月		
8 火		
9 水		
10 木		
11 金		
12 土	組踊公演	
13 日		
14 月		
15 火		
16 水		
17 木		
18 金		
19 土	琉球舞踊公演	
20 日		
21 月		
22 火		
23 水		
24 木		
25 金		
26 土		
27 日		
28 月		
29 火		
30 水		
31 木		

国立劇場
東京都千代田区



国立演芸場
東京都千代田区



伝統芸能情報館
東京都千代田区



国立能楽堂
東京都渋谷区



国立文楽劇場
大阪市中央区



国立劇場おきなわ
沖縄県浦添市



新国立劇場
東京都渋谷区



芸術文化振興基金

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1

電話03-3265-6302(直通) <https://www.ntj.jac.go.jp/kikin.html>

■日本芸術文化振興会の助成事業の事例紹介

振興会で実施している2つの助成事業により支援した活動をご紹介します



芸術文化振興基金による助成事業

芸術文化振興基金の運用益により、芸術団体等の行う文化の振興又は普及を図るための活動に対して助成しています。

芸術文化振興基金



文化庁

文化芸術振興費補助金による助成事業

文化庁からの補助金により、芸術の水準向上に直接的な牽引力となる舞台芸術の創造活動や国際的な実演芸術の公演活動、劇場・音楽堂等が主体となって行う実演芸術の創造発信、優れた日本映画の製作活動等に対して助成しています。

第五回あべの歌舞伎「晴の会（そらのかい）」公演

【分野：舞台芸術・美術等の創造普及活動 伝統芸能の公開活動】あべの歌舞伎上演実行委員会

【活動概要】

大阪府大阪市の南に位置する天王寺・阿倍野エリアで上方歌舞伎を育てることを目指し、2015年に開始した「あべの歌舞伎」。松竹・上方歌舞伎塾第一期卒業生の片岡松十郎、片岡千壽、片岡千次郎により結成された「晴の会」が毎年公演を行い、平成29年度には、将来の大阪文化を担う若手芸術家に対して贈られる「咲くやこの花賞（演劇・舞踊部門 [歌舞伎]）」を受賞。上方歌舞伎の普及、発展と地域活性化の原動力となっている。

人間国宝である片岡仁左衛門氏、片岡秀太郎氏を監修に、演出は山村流六世宗家・山村友五郎氏を迎え、2019年は『肥後駒下駄（ひごのこまげた）』を67年ぶりに復活上演し、8月2日から5日まで、近鉄アート館にて7回公演を行った。

【助成を受けて】

あべの歌舞伎では、三方を客席に囲まれた近鉄アート館の舞台を使った上演を続けており、空間に合う上方歌舞伎らしい作品の選定、お客様と一体となって楽しんでもらえる歌舞伎の創造を心がけています。上方歌舞伎の継承と発展を目指して活動していますが、歌舞伎の制作には莫大な経費がかかります。長唄・三味線・鳴物などの生演奏、大道具・小道具・衣裳・かつら、それらを裏で支える着付け・床山など多くの裏方さんも不可欠で、助成金による活動のサポートは大きな支えとなりました。

今回復活上演した『肥後駒下駄』は資料が少なく、台本づくりから苦労しましたが、助成金を活用して太夫と太棹三味線の生演奏を入れたことで登場人物の心情を深く表現することができ、これまでにない情感が生まれたと高い評価をいただきました。片岡仁左衛門氏、片岡秀太郎氏の情熱のこもった厳しい指導のおかげで、この5年間に若手の歌舞伎俳優たちが大きな成長を遂げ、上方歌舞伎の面白さや味わい深さも、幅広いお客様に知っていただくことが出来たと考えています。

活動を続けてきた5年間で地域のネットワークが大きく広がり、あべの歌舞伎は地域を繋ぐ役割も果たしてきました。子どもの情操教育の一環として、将来の歌舞伎ファンを育成すべく、親子で気軽に歌舞伎を見ていただける環境も整えています。今年からはオンライン配信も実施しますので、これを機に日本国内はもとより、海外でも楽しんでもらえるコンテンツを創っていきたく考えています。

今後の大きな課題は、上方歌舞伎を継承する人材の育成です。この先、長きにわたって上方歌舞伎を継承していくためには、「晴の会」メンバーが卒業した「上方歌舞伎塾」のような機関が必要です。そうした課題も視野に入れながら、あべの歌舞伎「晴の会」を発展させていきたいと思っています。

（「平成31・令和元年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）



第五回あべの歌舞伎「晴の会」公演「肥後駒下駄」より

『リーズの結婚〜ラ・フィーユ・マル・ガルデ〜』

【分野：舞台芸術創造活動活性化事業 舞踊】 一般財団法人 牧阿佐美バレエ団

【活動概要】

高水準のダンサー、幅広い作品レパートリーを誇り、世界のバレエシーンの第一線で多彩な活動を展開している牧阿佐美バレエ団。英国ロイヤルバレエの振付家サー・フレデリック・アシュトン卿が1960年に再振付して欧州ではメジャーである本作品は、日本では牧阿佐美バレエ団が唯一上演許可を得てレパートリーとしている。今回はより質の高い公演を目指し、英国から指導者を招へいして作品の理解度、技術力、演技力向上を図った。地域的一般客に向け、特に親子でバレエ鑑賞の機会を持ってもらうために公演前には鑑賞教室、バックステージツアーを会場の文京シビックホールと連携して実施。その効果もあって想定を上回る入場者数となった。2019年6月8日～9日、2回公演。

【助成を受けて】

英国ロイヤルバレエ団が初演当時から守り続けている本作品を、牧阿佐美バレエ団が日本において伝承していくことに大きな意義を感じています。親しみやすいストーリーと多彩なダンスで幸せを感じ、クラシックバレエの素晴らしさと楽しさ、親しみやすさを堪能していただくことで、バレエファンがファンを呼んで観客を増やし、バレエ芸術の浸透の促進を図りました。ただしバレエ公演は舞踊手だけではなく、オーケストラ、大道具、衣裳、照明、音響、さらに振付家、指揮者、芸術監督、舞台監督、バレエミストレス、バレエマスターと、多くの人が関わる総合芸術ゆえに必要な経費が多額になります。入場料収入も限られ、毎公演赤字は必至。したがって公的支援が必要不可欠と考えて助成を申請しました。

結果、本公演は国内外から高い評価を得ることが出来ました。また、リピーター観客が増えた手応えも感じています。1日目の公演を見た人が2日目の当日券に並ぶ、あるいは1日目の評判を聞いて2日目を見に来た、といったケースが見受けられ、2日目の公演の当日券が過去最高の売上枚数を達成しました。舞踊手の質の向上や、海外からの指揮者やゲストの招へいで国際交流に貢献できたことも、助成の力によるものだと考えます。主役ダンサーの怪我による降板の際に招へい指導者の助言で新人を代役として起用し、見事代役を務めたダンサーは次の公演で主役に抜擢されています。これは助成によって海外から招へいした指導者による功績とも言えるでしょう。

欧米の国立・一流バレエ団がレパートリーとする作品を安価に鑑賞できること、子供から大人まで幅広い年代に好まれ、バレエ鑑賞の入口として最適な作品を上演すること、そうした点に公益性があると感じています。今後もそのような作品の定期的な上演、レパートリーの増加、異分野とのコラボレーションなど、ぜひ助成金を活用して、活動を発展させていけたらと願っています。



「リーズの結婚 ラ・フィーユ・マル・ガルデ」
撮影：鹿摩隆司

（「平成31・令和元年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）

インフォメーション

年末年始のチケットのお取り扱いについて

年末年始におけるチケット販売について、下記の期間は休業となります。

国立劇場チケットセンター休業期間

電話予約 12月29日(火)～1月1日(金)
各劇場チケット売場
国立劇場 12月29日(火)～1月2日(土)
国立演芸場 12月24日(木)～1月1日(金)
国立能楽堂 12月29日(火)～1月3日(日)
国立文楽劇場 12月29日(火)～1月2日(土)
※インターネット販売はご利用いただけますが、一部受取方法や決済方法が選択できない期間があります。詳しくはチケットセンターホームページをご覧ください。

国立劇場おきなわチケットカウンター休業期間

窓口・電話予約 12月29日(火)～1月3日(日)
※インターネット販売は通常通りご利用いただけます。

新国立劇場ボックスオフィス休業期間

窓口・電話予約 12月29日(火)～1月3日(日)
※ボックスオフィス休業期間中のインターネット販売は、一部の受取方法や決済方法が選択できない期間があります。詳しくはWebボックスオフィスをご覧ください。

令和4年度国立劇場施設使用お申込みのご案内

令和4年度(2022年4月～2023年3月)の大劇場・小劇場施設使用予約のお申し込みを下記のとおり受付いたします。

受付期間 令和2年12月1日(火)～21日(月)
平日10:00～17:00

※お申込書は、下記の受付期間中に施設利用室にて受け取るか、国立劇場ホームページよりダウンロードしてください。

問合せ先

国立劇場施設利用室 03-3265-6793(直)

国立劇場歌舞伎脚本募集

～歌舞伎に新しい1ページを～

歌舞伎は、長い歴史を通じ、生き生きとその時代を映し出した魅力的な作品を生み、現在の多彩な上演演目が形成されました。この伝統は、今日の歌舞伎においても受け継がれ、新時代の歌舞伎作品が生まれています。

独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)では、歌舞伎振興のため、新しい優れた作品を求め、広く一般から脚本を募集します。題材は自由ですが、日本語による未発表の作品(舞踊劇を除く)とします。応募資格は一切問いません。

原稿枚数 400字詰原稿用紙60枚以内(場割・役名を含む)。

賞

優秀作: 1 篇 賞状及び賞金100万円

佳作: 若干篇 賞状及び賞金各30万円

奨励賞: 若干名 賞状及び賞金各10万円

締切 令和3年3月31日(郵送は当日消印有効、宅配便は当日受付有効、データ送信は当日までの着信)

入選発表 令和4年3月(予定)

選考委員 大笹吉雄・岡崎哲也・竹田真砂子・西川信廣(50音順・敬称略)

河村潤子(日本芸術文化振興会理事長)

※募集の詳細は劇場ロビー内のチラシや国立劇場のホームページをご確認ください。

<https://www.ntj.jac.go.jp//sp/topics/kokuritsu/2020/3101.html>



問合せ

国立劇場制作部歌舞伎課
TEL: 03-3265-6294〔脚本募集専用〕
(平日11:00～17:00)

MAIL: new-kabuki@ntj.jac.go.jp

メールでのお問い合わせの際には、件名に「歌舞伎脚本募集について」と必ず記載してください。

お正月の国立劇場各館のご案内

◆国立劇場大劇場

初春歌舞伎公演は、3日に幕を開けます。劇場には積み樽、大凧などを飾ります。今回は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、初日の鏡開き、樽酒のお振る舞い、曲芸、初日から7日まで行っておりました獅子舞、公演期間中の手ぬぐいまきにつきましては、中止といたします。なお公演期間中、プログラムをご購入の方に抽選で手ぬぐいを進呈します。皆様のご来場をお待ちしております。

◆国立演芸場

2～7日の新春国立名人会は、正面に蘭玉と積み樽を飾って皆様をお迎えします。初笑いはずい国立演芸場へお出かけください。

◆国立能楽堂

年明け最初の自主公演は6日の定例公演で、舞台に注連縄をはり、素謡「神歌」、能「弓八幡」、狂言「靱猿」で新年を寿ぎます。

◆国立文楽劇場

初春文楽公演は、3日に初日を迎えます。3日から7日まで、抽選による手ぬぐいプレゼントがございます。場内には上方特有の「にらみ鯛」などを飾り、大阪らしい初芝居の雰囲気の皆様をお迎えいたします。

◆国立劇場おきなわ

年明け最初の自主公演は16日の琉球舞踊公演「琉球舞踊特選会」です。休憩中のお年玉抽選会などもお楽しみいただけます。

◆新国立劇場

新年は「ニューイヤール・バレエ」(9日～11日)で幕を開けます。新国立劇場バレエ団ならではの、多面的な魅力を存分に堪能でき、新春に相応しい華やかなバレエの祭典です。ぜひご期待ください。

2021年版カレンダー販売中

各劇場ロビー内売店にて2021年版カレンダーを販売しています。ご来場の記念にぜひお求めください。

劇場名	価格(消費税込み)	お問い合わせ
国立劇場	1,300円	(株)文化堂 03-3239-2417
国立演芸場	1,000円	(株)文化堂 03-3239-2417
国立能楽堂	壁掛型1,300円、卓上型610円	営業課 03-3423-1331(代)
国立文楽劇場	壁掛型1,300円、卓上型800円	(有)文楽せんべい本舗 06-6752-6356(直)
国立劇場おきなわ	800円	事業課 098-871-3311(直)
新国立劇場	1,600円	新国立劇場 03-5351-3011(代)

令和2年12月文楽公演

12月3日(木) - 15日(火)

第一部

仮名手本忠臣蔵

二つ玉の段
身売りの段
早野勘平腹切の段

第二部

桂川連理柵

六角堂の段
帯屋の段

人形浄瑠璃



12月号 日本芸術文化振興会二ニュース (月刊)



■ご観劇料〔各部・税込〕※障害者の方は2割引です。
一般〔1等席〕4,500円〔2等席〕3,800円
学生〔1等席〕3,200円〔2等席〕1,900円

■予約開始=11月14日(土) 午前10時~
【電話】国立劇場チケットセンター〔午前10時~午後6時〕
0570(07)9900/03(3230)3000 (一部IP電話等)

【インターネット】国立劇場チケットセンター [検索](#)

■窓口販売開始=11月15日(日) チケット売場〔午前10時~午後6時〕
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

字幕表示がごさいます

！新型コロナウイルス感染予防の対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。
詳細はホームページをご覧ください。

公演日程

	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火
2:00	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①	-	①	-
4:30	-	②	-	-	-	-	-	-	-	②	-	②	-
5:00	①	-	①	①	①	①	①	①	-	①	-	-	①
7:30	②	-	②	②	②	②	②	②	-	②	-	-	②

①：第一部 ②：第二部 上演時間=各部1時間30分
各部とも休憩はございません。

〔桂川連理柵〕帯屋の段 撮影=二階堂 健

東京・半蔵門 国立劇場 小劇場

東京都千代田区隼町4-1
電話03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

National Theatre, Tokyo Presents
BUNRAKU Performance
December 3-15, 2020
*Audio guide: Available for rent in Japanese.

Program I : Kanadehon Chūshingura
Program II : Katsuragawa Renri no Shigarami

Booking Opens November 14
Box Office 0570-07-9900(10:00-18:00)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.html



令和2年12月1日発行 通巻629号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人 日本芸術文化振興会 〒110-2186 56
印刷 勝美印刷株式会社 東京都千代田区隼町4-1
03-3265-7411 (代表)